

SQLAnywhere のサイレント・インストールおよびサイレント・アンインストール

SQLAnywhere アプリケーション、SQLAnywhere マニュアル、および SQLAnywhere Monitor をサイレントにインストールおよびアンインストールするには、以下の情報を参照してください。

SQLAnywhere アプリケーション、SQLAnywhere マニュアル、および SQLAnywhere Monitor のサイレント・インストールおよびサイレント・アンインストールは、以下の Microsoft Windows オペレーティング・システムでサポートされています。

- * Microsoft Windows 2000 Server
- * Microsoft Windows 2003 Server
- * Microsoft Windows 2008 Server
- * Microsoft Windows XP
- * Microsoft Windows Vista

Microsoft Windows Vista および Microsoft Windows 2008 Server オペレーティング・システム上で SQL Anywhere アプリケーション、SQL Anywhere マニュアル、および SQL Anywhere Monitor をサイレントにインストールおよびアンインストールするには、管理者権限が必要であり、なおかつ昇格モードで動作している必要があります。さらに、SQL Anywhere を配備する権限がライセンス契約の条項で定義されている必要があります。

サイレント・インストールではユーザによる入力の必要がないため、ユーザはインストールが行われていることに気が付きません。

SQLAnywhere インストール・パラメータ

Microsoft Windows オペレーティング・システム上では、インストール・プログラムが SQL Anywhere の setup.exe インストーラを呼び出し、SQL Anywhere アプリケーション、SQL Anywhere マニュアル、および SQLAnywhere Monitor をサイレントにインストールするように構成することができます。setup.exe は、SQLANY32.msi および SQLANY64.msi ファイルと同じディレクトリに配置されています。ただし、SQLANY32.msi および SQLANY64.msi ファイルの親ディレクトリ内にある setup.exe ファイルは、サイレント・インストールをサポートしません。setup.exe インストール・ファイルを使用して SQL Anywhere をサイレントにインストールする場合、以下のパラメータを指定できます。

* **/L:language_id** インストールの言語を指定するロケール番号。以下のロケール・コードがサポートされます。

- o ID 1033 - U.S. English
- o ID 1031 -- German
- o ID 1036 -- French
- o ID 1041 - Japanese
- o ID 2052 - Simplified Chinese.

* **/S** 初期化ダイアログを非表示にします。このオプションは **/V** とともに使用します。

* **/V** Microsoft Windows Installer のパラメータ。

* **REGKEY** 有効なソフトウェアのインストール・キー。

* **INSTALLDIR** ソフトウェアのインストール先のパス。

* **DIR_SAMPLES** サンプル・プログラムのインストール先のパス。

* **DIR_COMMONDOC_SQLANYWHERE_MONITOR** SQL Anywhere Monitor ファイルのインストール先のパス。このパラメータは、開発およびテスト用の SQL Anywhere Monitor をインストールする場合に指定します。運用版の SQL Anywhere Monitor をインストールする場合は、このオプションを指定しないでください。通常、SQL Anywhere Monitor は、SQL Anywhere アプリケーションと異なるサーバ上にインストールします。

* **USERNAME** インストールを実行するユーザの名前。

* **COMPANYNAME** インストールの責任を負う会社の名前。

SQL Anywhere のサイレント・インストール

SQL Anywhere をサイレントにインストールするには、以下のようなコマンドを実行します。

```
d:\software\sqlanywhere\setup.exe /l:1033 /s "/v:/qn  
REGKEY=PEPEV-E96QE-A4000-00000-00000 INSTALLDIR=c:\sa11  
DIR_SAMPLES=c:\sa11\Samples USERNAME=%"John  
Smith%"COMPANYNAME=%"Smith Holdings%"
```

バックスラッシュ文字は、内部の引用符をエスケープするために使用します。

SQL Anywhere マニュアルのサイレント・インストール

SQL Anywhere マニュアルをサイレントにインストールするには、以下のようなコマンドを実行します。

```
d:\software\documentation\setup.exe /l:1033 /s "/v:/qn"
```

SQL Anywhere Monitor のサイレント・インストール

SQL Anywhere Monitor をサイレントにインストールするには、以下のようなコマンドを実行します。

```
d:\software\Monitor\setup.exe /l:1033 /s "/v:/qn  
REGKEY=PEPSM-A4AAA-BC000-00000-00000 INSTALLDIR=C:\sa11  
DIR_SQLANY_MONITOR=C:\MONITOR  
USERNAME=%"John Smith%"  
COMPANYNAME=%"Smith Holdings%"
```

* **DIR_SQLANYWHERE_MONITOR** SQL Anywhere Monitor ファイルのインストール先のパス。このパラメータは、運用版の SQL Anywhere Monitor をインストールする場合に指定します。通常、SQL Anywhere Monitor は、SQL Anywhere アプリケーションと異なるサーバ上にインストールします。

コマンドの実行後、コンピュータが再起動されます。

SQL Anywhere の製品コード

SQLAnywhere アプリケーション、SQLAnywhere マニュアル、および SQLAnywhere Monitor をサイレントにアンインストールするには、以下のいずれかの製品コードを指定する必要があります。

* SQLAnywhere software - ECE263B0-6C8B-404C-B4AC-8FAB1C87AB4A

* SQLAnywhere documentation (English) - E306E26C-DE4C-4E69-9A5F-F9F8BB240F33

* SQLAnywhere documentation (German) -

BD26A2B3-7D29-4A37-90F4-AB58BDAB6E3C

* SQLAnywhere documentation (French) - 2CF9CF3D-1135-4D32-86B6-2EEB1906ACC1

* SQLAnywhere documentation (Chinese) -

75AEE8B8-0F7E-4D18-AE8A-E3F29A9693A7

* SQLAnywhere documentation (International) -

870D21E9-2810-49CA-B7C4-8CCE9FDE8547

* SQLAnywhere monitor - 71875214-442C-40FA-83BA-F6A5F1A7AF25

SQLAnywhere、SQLAnywhere マニュアル、および SQLAnywhere Monitor のサイレント・アンインストール

SQLAnywhere、SQLAnywhere マニュアル、または SQLAnywhere Monitor をサイレントにアンインストールするには、以下のコマンドを実行します。

```
msiexec.exe/qn/uninstall {SQL_Anywhere_Product_Code}
```

qn スイッチを指定することにより、一連のユーザ・インタフェースが表示されなくなり、コマンドがサイレントに実行されます。

Microsoft Windows Vista オペレーティング・システムおよび Windows 2008 Server では、最初にコマンド `setup.exe /S /X` を実行し、昇格モードで Microsoft Windows Installer を呼び出す必要があります。さらに、SQLAnywhere のマニュアルまたはソフトウェアの `setup.exe` ファイルの正確な位置も指定する必要があります。

サイレント・インストール問題の解決

SQLAnywhere アプリケーション、SQLAnywhere マニュアル、または SQLAnywhere Monitor のサイレント・インストール中に発生した問題を解決するには、ログ・ファイルを使用します。

MsiEnableLog (MSI) 関数を有効にしてログを生成するには、`/v` の後に以下の構文を追加します。たとえば、以下のようなパラメータを使用します。

```
/!*v! logfile
```

このパラメータは冗長ログを生成するため、インストールの実行時間が非常に長くなります。

また、`msiexec /` とともに以下のいずれかのパラメータを指定してサイレント・インストール問題を解決することもできます。

i - ステータス・メッセージ **m** - メモリ不足または致命的な終了情報

w - 致命的でない警告 **o** - ディスク容量不足メッセージ

e - すべてのエラー・メッセージ **p** - 端末プロパティ

a - 起動アクション **v** - 冗長出力

r - アクション固有の記録 **x** - 特別なデバッグ情報

u - ユーザ要求 + - 既存のログ・ファイルへの付加
c - 初期の UI パラメータ ! - 各行をログへフラッシュ

サイレント・アンインストール問題の解決

SQLAnywhere アプリケーション、SQLAnywhere マニュアル、または SQLAnywhere Monitor のサイレント・アンインストール中に発生した問題を解決するには、ログ・ファイルを使用します。ログ・ファイルを生成するには、以下のようなコマンドを実行します。

```
msiexec.exe /qn /uninstall {ECE263B0-6C8B-404C-B4AC-8FAB1C87AB4A} /!<log_file_path>
```